嬬恋村今井地区活性化協議会

~移住希望者と空き家の活用希望者の相談窓口~

【事業実施の背景】

- 昭和35年から平成17年までの人口減少率28%以上、 若年者比率14%以下。平成22年に過疎地域指定
- ・ 村内の約300棟の空き家を活用した定住促進
- 移住者のニーズを把握し、移住後の生活イメージを 伝え、移住後の生活への不安の解消が課題

【事業の特徴】

- 空き家の利活用に関すること(購入費、税金、補修 費等)のほか、定住して生活するために必要なことを ワンストップの相談窓口で対応
- 空き家を活用した移住定住体験ツアーを開催など、 嬬恋村への定住促進施策との一体的な取り組み

総合相談窓口

- ■相談窓口の設置場所 嬬恋村観光協会、嬬恋村商工会事務所
- ■相談対象者(内容)
 - 住宅・空き家の所有者(建築、法律、税金等)
 - 移住 定住希望者(教育、生活習慣、就農等)

■特徴

- 空き家対策と移住定住の相談窓口
- 相談員は、地域の実情に詳しく、地域住民とつながりのある役場OBが担当
- 嬬恋村商工会や地元の地方銀行等と連携し、相談 内容に応じて対応依頼

•移住希望者 ·二地域居住希望者 ・中古建物・空き家所有 ·定住希望者 相談 相談内容の調整 • 🛮 相談 答 ・受給マッチング 嬬恋村今井地区活性化協議会が主 総合相談窓口編談員による相談・提案やマッチング業 地方公共団体 嬬恋村役 専門家·専門業者 嬬恋村今井地区活性化協議会 •司法書士事務所 法律相談 農業指導及び田畑貸付 総合政策課 手続き相談 空き家住宅の把握 ·不動産業者 地域の行事等に関する相談 定住促進事業 定住後のフォロー 売買仲介・賃貸仲介 観光商工課 建設業者 企業·就業支援 定住体験イベントの開催 リノベーション・改築等相談・見 農林課 相談窓口システムの構築

その他のモデル的な取組

- 空き家を活用した定住体験ツアーを実施
- 移住希望者等を対象として、地元の建設事業者や工務店を講師とするDIYワークショップを開催

平成28年度実績

■ 総合相談窓口

対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談	68件
対象地域内への住替又は移住検討者からの相談	34件
地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談	3件

- 定住体験ツアー(1回) 参加者数8組14名
- DIYワークショップ(1回) 参加者数11名

事業の成果

- 嬬恋村役場との連携により、相談窓口の設置及び体制整備を行い、相談件数は当初の目標を達成
- 司法書士や不動産業者、商工会の方々への研修により、窓口対応の人材を育成

今後の課題

- 村内の空き家データ(約300件)の継続調査が必要
- 村外者の利用が見込まれる場所への相談窓口の新設
- 近隣自治体との就業に関する連携体制の拡充

今後の事業展開

- 総合相談窓口については、観光協会や商工会に設置し、役場OBを相談員として活用することで、低コストで持続性を確保
- 将来的には、移住定住に関する不動産仲介を行うことを検討